

第 3 次環境基本計画策定の考え方

【計画の内容】

- ・これまでの第 1 次・第 2 次環境基本計画策定時における市民との議論を尊重し、日野市の目指すべき環境像を踏襲します
- ・施策については、現在の取り組みを軸に、行政が実施すべきことを記載した事業計画とします

【作業の進め方】

- ・市が行う環境関連事業が網羅されたものとなるよう現状の取り組みの洗い出しを行います

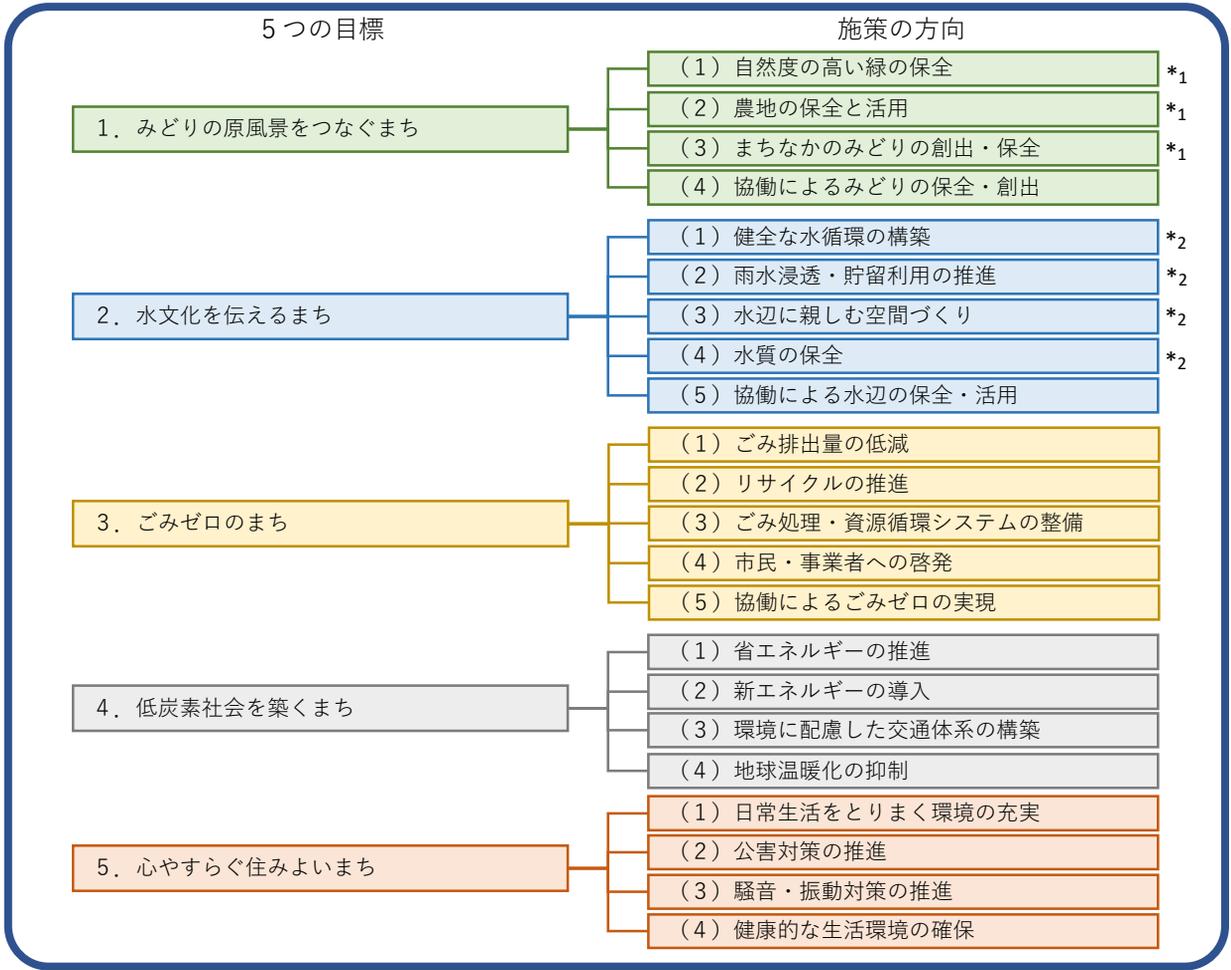


- ・第 2 次環境基本計画に照らし、廃止された取り組み、新たな取り組みについて整理し、「目標」・「施策の方向」を再構成します

【整理・再構成のポイント】

1. 各分野（目標）間で生じていた政策の設定レベル調整
2. 新たに考慮すべき社会課題等を踏まえ目標・施策の整理
 - ・「ごみゼロプラン」の中間検証に合わせ、整合性を図り、施策の方向性を定めます
 - ・「地球温暖化対策実行計画」を踏まえた目標「低炭素社会を目指すまち」について、気候変動に対する「緩和策」だけでなく、「適応策」も見据え「気候変動緩和・適応を実現するまち」として位置づけます
さらに、2050年までのゼロカーボンシティ実現を目指します
なお、「第 3 次日野市地球温暖化対策実行計画」は、本環境基本計画と時期を同じくし、令和 3 年度改定時期を迎えるため、「気候変動適応策」にも触れた内容に整え、改定します
 - ・第 2 次環境基本計画中間検証（平成 28 年 1 月）後に策定された「ひの生きものプラン」を新たな目標「人と多様な生きものが共に暮らせるまち」として位置づけます
 - ・「ごみゼロプラン」「地球温暖化防止対策実行計画」「ひの生きものプラン」については、「施策の方向」に続く「施策」以下について、各プランに委ねるものとし、環境基本計画との整合性を図ります

【第2次環境基本計画】



新たな要素を加え再構成



【第3次環境基本計画】

